

理解を深めよう  
もう一問!

Q2

部落差別について、  
県民の意識はどうなの？

2022 年に滋賀県が公表した「人権に関する県民意識調査」によると、部落差別についての部分を抜粋すると次のようになります。

### ○部落差別の現状について

- ・「部落差別はいまだにある」 74.5%
- ・「部落差別はもはや存在しない」 22.9%



部落差別はもはや存在しないと感じている人が5人に1人以上いるんだ。現在ある部落差別について気が付いてないのかな。

### ○部落差別が残っている原因

- ・「昔からある偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから」 70.8%
- ・「部落差別に関する正しい知識を持っていない人がいるから」 52.4%
- ・「地域社会や家庭において偏見が植えつけられることがあるから」 42.2%
- ・「『同和は怖い』という意識がまだ残っているから」 33.5%



やっぱり、部落差別問題について学ぶことが必要だね。

### ○被差別部落出身者への意識

「気にならない」がどの項目においても最も高くなっているが、以下の項目が「気になる」と答えた人の割合

- 「交際相手や結婚相手」 34.0%
- 「近所の人」 11.9%
- 「求人に対する応募者や職場の同僚」 8.2%



結婚差別が根強く存在するというのは本当なんだね。

## ○同和問題の解決方法の考え方

以下の設問に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合

- 「同和問題について正しい理解と認識を深め、一人ひとりが差別をしない人権尊重の意識を高めることが必要」 84.4%
  - 「教育・啓発・相談体制の充実などの施策を推進することが必要」 73.5%
  - 「地域社会の中でお互いに交流を広めてまちづくりを進めることが必要」 70.1%
  - 「差別を受けた被害者の救済を図ることが必要」 70.1%
- 一方で・・・
- 「部落差別を受ける人が一定の地区に固まって生活しないで、分散して住むようにすればいい」 45.3%
  - 「同和問題のことなど口にせず、そっとしておけば、差別は自然になくなる」 35.0%



「部落分散論」と「寝た子を起こすな論」の根強さを感じるね。

## ○同和問題解決に向けての思い

- 「とくに努力をしたいとは考えていないが、差別しないようにしたい」  
62.8%
- 「自分にできる限りの努力をしたい」  
15.8%
- 「自分にはどうにもできないのでなりゆきにまかせる」  
7.9%



一つ目と三つ目は自分の問題として考えていない意見だね。

これらの意識調査の結果をみると、まだまだ部落差別問題が解決したとは言えません。一人ひとりが関心を持ち、自分事と捉え、みんなで努力して差別をなくしていきたいものです。